



# 赤石太鼓40周年記念公演



40周年記念公演の動画はこちら

赤石太鼓40周年記念公演の様子

ユネスコエコパークに登録された、静岡市井川と川根本町の魅力を伝える、地域でつくる新聞

# 井川と川根をつなぐ いかわね新聞 No.19

## かわねの地に響く 伝統の「音」



いかわね新聞第19号 2023年1月1日発行(年2回発行)  
発行・南アルプスユネスコエコパーク静岡地域連携協議会  
〒420-8602 静岡市葵区追手町5-1 静岡市環境創造課内  
TEL 054(221)1357

【会員】静岡森林管理署、天竜森林管理署、静岡県静岡市、川根本町(株)特種東海フォレスト、中部電力(株)静岡水力センター、しずてつジャストライン(株)、大井川鐵道(株)、千代田タクシー(株)、十山(株)、川根本町森林レクリエーション推進協議会、井川山岳会、【協力】井川観光協会、川根本町まちづくり観光協会、南アルプス井川エコツーリズム推進協議会

## 2023 1月~ いかわねの イベントカレンダー

12月	~2月12日(日) 毎週土日運行 (12/31、1/1を除く)	かわね 星空列車
	24日(土) ~3月12日(日)	いかわ リバウエル井川 スキー場オープン(予定)
1月	1日(日) ~1月9日(月・初) (1/4、5除く)	かわね DAY OUT WITH THOMAS
	10日(火) ~(終了未定)	かわね 大井川鐵道 ゆるキャン△キャンペーン
2月	22日(日)	いかわ リバウエル井川感謝祭
	5日(日)	いかわ リバウエル井川 雪だるまコンテスト
3月	5日(日)	いかわ リバウエル井川 ありがとうDAY
	25日(土) 又は26日(日)(予定)	かわね 小長井お花見マルシェ

※予定は変更される場合があります。

井川ビジターセンター  
☎054-260-2377

川根本町まちづくり観光協会  
☎0547-59-2746



## リバウエル井川スキー場 ☎054-260-2316



リバウエル井川は大井川沿い唯一のスキー場。南アルプスの山々と富士山を眺めながら滑ることができ、レンタルは、初心者から上級者まで対応。

やこども連れにもピッタリ！  
レストハウスの名物「おらんどカレー」は、ルーには在来じゃがいも・おらんどを、トッピングには別の種類のじゃがいもを使い、食感の違いを楽しめるこだわりの逸品です。

この冬はぜひ、冬用タイヤを装着の上、大自然の中ゆったり楽しむスキー場を訪れてみてはいかがでしょうか。

おらんどカレー

## YUKINGO

「井川の農作物を使った商品を作りたい」との想いを持ったお母さんたちと井川の地域おこし協力隊が開発したお菓子がYUKINGO(ゆきんこ)です。県内有数の降雪地域であることにちなんで名付けられました。井川の伝統作物・赤石豆(落花生)とゆずを使ったクッキーは、ほんのりとしたゆずの香りと赤石豆の香ばしさが口に広がります。サクッとした食感も心地よく、何個も食べたくなる美味しさです。

主な販売店 アルプスの里、井川ビジターセンター  
じんきち(富士見峠近く)



## 絶景の畑薙大吊橋 紅葉の見頃:例年11月上旬



はたなぎおつりばし  
通行可能な道に制限はありつつも令和4年の秋も、井川には沢山の方が訪れ紅葉を楽しんでいただきました。井川の集落がある地域より北上し、徒歩か自転車で行けない畑薙大吊橋は、たどり着くために時間がかかってもなお、多くの人を魅了する人気の紅葉スポットです。畑薙より少し遅れて始まる井川湖畔の紅葉は、渡船やドライブでも楽しめます。南アルプスあぶとラインに揺られ楽しむなら、11月上旬から中旬の井川ダム周辺がオススメです。次の秋もぜひ見に来てくださいね。

アクセス:井川駅から沼平ゲートまで車で約1時間。ゲートから徒歩約40分。

## 寸又峡の紅葉 紅葉の見頃:例年11月上旬



すまたきょう  
今年も寸又峡で、きれいな紅葉を見ることが出来ました。一時は、台風15号の影響により道路が通行出来ない状態でしたが、様々な方のご支援により道路は復旧され、観光客もきれいな紅葉を見ることが出来ました。令和4年11月現在、夢のつり橋は渡ることが出来ず、散策コースを歩いての見学となっています。来年の紅葉は、夢のつり橋からも眺めることが出来ると嬉しいですね。

アクセス:【車】新東名高速道路 島田金谷ICから北上 約90分  
【電車とバス】大井川鐵道本線新金谷駅から千頭駅まで車で70分  
※千頭駅から寸又峡温泉行路線バスで寸又峡温泉入り口バス約40分  
※大井川鐵道本線は、11月末現在、運休しています。お越しの際は、最新の運行情報をご確認ください。

これ知ってる?  
おすすめの紅葉

令和4年11月13日(日)、川根本町文化会館にて「赤石太鼓40周年記念公演」が開催されました。公演当日は、赤石太鼓の代表曲である「赤石山霊龍神太鼓」や「小長谷城陣屋太鼓」などのほか、太鼓芸能集団「鼓童」の元メンバーで和太鼓、篠笛の奏者として世界でも活動する神谷俊一郎氏作曲の新曲「川根本町実り唄」が初披露されました。また、赤石太鼓のほか、島田市で活動する「金谷大井川越し太鼓」と浜松市で活動する「遠州天竜太鼓龍勢組」の友情出演で会場を盛り上げました。

赤石太鼓の歴史は昭和56年から始まり、当時、合併前の旧本川根町には芸能文化として一部地域には古来の神楽等が伝承されていましたが、町全体を代表する郷土芸能はありませんでした。そこで芸能文化を育て、地域住民の連帯感と郷土愛を築くと同時に町の活性化とコミュニティづくりを目指し、また、同好者を広げて将来へ託したいという思いから「赤石太鼓」が創設されました。

その翌年には、赤石太鼓保存会が発足されました。発足当初から赤石太鼓保存会として活動する中原康夫氏は、「太鼓のおかげで素晴らしい人たちに会えることができ、自分の人生がまた一つ違うものになった。これから後輩たちにはこの太鼓の良さを自分のものだけにせず、たくさんの方に発信し、そこから太鼓に関わってもらい、楽しんでもらえれば嬉しい」と今後の赤石太鼓の更なる発展に向けて明るく挨拶しました。